



復興の現場から学ぶ

ヘリテージマネージャーが  
被災地域において  
とるべき行動と  
災害に備えた体制と連携の  
構築を考える。

Heritage Managers [ヘリテージマネージャー] が  
Historic Architectures [歴史的建造物] を  
Demolition [解体] から Guard [防護] し  
Resurgence [復興] を Assistance [支援] する  
Formation [組織] づくりを考えましょう。

10月29日 日 13:00~16:30

参加費：無料、第1部13:05~ 第2部14:45~

キャンパスプラザ京都[2階ホール] 京都市下京区東塩小路町939  
TEL (075) 353-9111

第1部

「熊本地域の歴史的建造物修復保存の  
動きとヘリテージマネージャーの関わり」

基調講演：熊本大学大学院教授 伊東龍一 氏

第2部

「熊本地域の視察」及び「倉吉中部地震  
復旧支援」報告とパネルディスカッション

報告：熊本視察員・倉吉派遣員  
パネルディスカッション：専門家とヘリテージマネージャー

主催：京都市文化財マネージャー育成実行委員会  
企画運営：特定非営利活動法人 古材文化の会

※講師プロフィール、お申込み方法、その他詳細は裏面参照



## 開催主旨

近年、地震など自然災害によって、多くの都市や建物が被害を受けている。なかでも被災した歴史的建造物に至っては、保存修復において大きな壁に直面し、解体に至るケースも少なくない。

阪神大震災を機に養成されたヘリテージマネージャーが、通常の活動はもとより、このような非常時において、どのような役割を果たせるかが求められる。

歴史的建造物やそれらが建ち並ぶまちや風景を守るため、被災地に対する支援態勢、或いは、自らのまちが被災した場合の受入態勢など、何ができるか、何が必要かという命題について、実際の被災地支援、及び復興まちづくりの現場を通して考えることで、京都市文化財マネージャーのスキルアップを図る。

# プログラム

13:00-13:05 開会あいさつ

13:05-14:35 第1部 基調講演

特別講師：伊東龍一氏（熊本大学大学院教授）  
「熊本地震の歴史的建造物の修復保存の動きと  
ヘリテージマネージャーの関わり」

休憩

14:45-16:25 第2部 報告会及パネルディスカッション

熊本地域の視察及び倉吉中部地震復旧支援報告  
(60分)  
熊本視察員、倉吉派遣員

パネルディスカッション(40分)

専門家とヘリテージマネージャー

16:25-16:30 閉会あいさつ

## 講師経歴：

伊東龍一教授

熊本大学大学院先端科学研究部環境科学部門  
建築史・都市計画分野教授。

熊本地震文化財ドクター

熊本地震被災文化財建造物復旧支援委員会委員。  
特別史跡熊本城保存活用委員会 天守復興部会部  
会長。

熊本をはじめ、大分、宮崎などの各県において  
ヘリテージマネージャー養成講座の講師を務める。

1957年東京都生まれ。

1981年東京工業大学建築学科卒業

工学博士（東京工業大学）。

著書に

『近世建築指図の総合的研究 第一巻』

『同 第三巻』

『寺社の装飾彫刻』（共著）

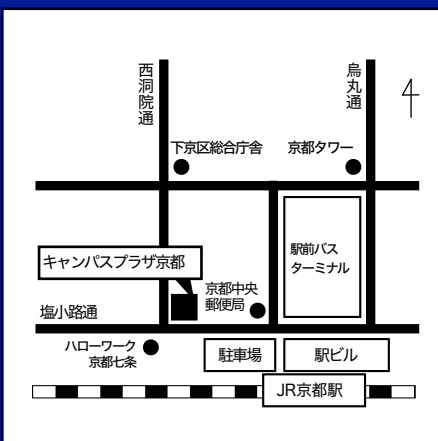
『日本名建築写真選集15 日光東照宮』（共著）

『城郭・侍屋敷古図集成 江戸城Ⅰ』などがある。

## 復興の現場から学ぶ

ヘリテージマネージャー  
が、被災地域においてとる  
べき行動と  
災害に備えた体制と連携  
の構築を考える

### <会場地図>



参加費：無料

定員：80名 先着順、定員になり次第締め切ります。

申込：参加希望の方は氏名、連絡先、所属を明記の上、10月21日(土)

までに事務局にFAX またはメールでご連絡ください。

※受付の通知と詳しい交通のご案内を送ります。

氏名

\_\_\_\_\_

所属 京都市文化財マネージャー その他（ \_\_\_\_\_ ）

連絡先 電話

\_\_\_\_\_

mail

\_\_\_\_\_

京都市文化財マネージャー育成実行委員会  
事務局 特定非営利活動法人 古材文化の会

〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地

Tel: 075-532-2103 Fax: 075-551-9811 E-mail: bunka@kozai.or.jp